

作成日 ; 2019年 8月 9日
改訂日 ; 2023年 5月 9日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ウルトラナノ浸透プライマー
会社名 : 日本プラスター株式会社
住所 : 栃木県佐野市多田町 188-2
担当部門 : 技術部
電話番号 : 0283-62-6511
整理番号 : NP-G061
推奨用途および使用上の制限 : 建材としての使用を推奨する

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2
	生殖細胞変異原性	: 区分 1B
	発がん性	: 区分 2
	生殖毒性	: 区分 1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 2

【GHS ラベル要素】

絵表示 :



注意喚起語 :	危険
危険有害性情報 :	強い眼刺激 遺伝性疾患のおそれ 発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

[安全対策]	使用前に取扱説明書(安全データシート)を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
[応急措置]	目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外し、その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断又は手当を受けること。
[保管]	施錠して保管すること。
[廃棄]	内容物、容器を国・都道府県・又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
アクリル樹脂	15~17	非公開	既存化学物質	非公開
エタノール	1~2	C ₂ H ₆ O	(2)-202	64-17-5
可塑剤	0.5~1	非公開	既存化学物質	非公開
3-クロロ-1,2-プロパンジオール	0.4 未満	C ₃ H ₇ ClO ₂	(2)-2441・2-(8)-76	96-24-2
ギ酸	0.3 未満	CH ₂ O ₂	(2)-670	64-18-6
1,3-ジクロロ-2-プロパノール	0.2 未満	C ₃ H ₆ ClO ₂	(2)-2002・2-(8)-119	96-23-1
水	80~82	H ₂ O	—	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合： 速やかに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の診断・手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 速やかに汚染された衣服を全て脱ぎ取り除く。皮膚を流水・シャワーで洗う。
- 眼に入った場合： 速やかに清浄な水で最低 15 分間洗眼した後、直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄した後、直ちに医師の診断・手当てを受ける。
- 急性症状及び： 不快感、頭痛、全身倦怠感を示す。
- 遅発性症状の
最も重要な兆候
- 応急措置を
する者の保護： 汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋等の適切な保護具を使用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤： 特になし
- 特有の危険有害性： 火災によって、刺激性、有害ガスが発生するおそれがある。
- 特有の消火方法： 初期の火災には、粉末、二酸化炭素などを用いる。大規模火災の際には、水溶性液体用泡消火薬剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、すみやかに安全な場所へ移す。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護： 有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	漏洩区域は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩エリア内に立ち入る時は、保護具を着用する。 皮膚、眼などの身体とのあらゆる接触を避ける。 風上から作業し、粉じんなどを吸入しない。 粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。 密閉された場所に立ち入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項：	河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。 周辺住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。 海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。
回収・中和：	漏洩物を掻き集め、密閉できる空容器に回収する。 回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に処分廃棄する。 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。
封じ込め及び浄化の 方法・機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策：	事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	本製品を取り扱う場合は、適切な保護具(保護手袋、保護面、保護メガネなど)を着用する。 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：	作業場の換気を十分に行う。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件：	直射日光や多湿を避け、5℃以上 40℃以下で保管する。 容器を密閉して冷暗所で保管する。 混触危険物質(強酸化剤、酸類)、食料、飼料から離して保管する。 施錠して保管する。 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。 保管場所は、換気装置を設置する。
安全な容器包装材料：	消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標) :

日本産衛学会(2021年版)	5ppm(9.4mg/m ³)(ギ酸)
ACGIH(2021年度版)	TWAー,STEL 1000ppm(エタノール) TWA 5 ppm,STEL 10ppm(ギ酸)

設備対策 : 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

粉塵、蒸気、ガスなどが発生する場合は、換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク、簡易防塵マスク、防毒マスク(有機ガス用等)を着用する。

手の保護具 : 保護手袋(ニトリル製又は塩化ビニル製)を着用する。

眼の保護具 : 保護メガネ(普通メガネ型、側板付き普通メガネ型、ゴーグル型)を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣を着用する。
必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

衛生対策 : 本製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 :	液体
外観 :	合成樹脂エマルジョン
色 :	黄白濁色
臭い :	微臭
pH :	4.0~6.0
融点・凝固点 :	0℃(水)
沸点・初留点及び沸騰範囲 :	100℃(水)、79℃(エタノール)
引火点 :	68℃(セタ密閉式)72℃以上では引火せず燃焼点も観察されない
蒸発速度 :	データなし
燃焼または爆発範囲の上限・下限 :	データなし
蒸気圧 :	5.8kPa(20℃)(エタノール)
相対蒸気密度 :	1.6(20℃)(エタノール)
比重 :	1.0~1.1(23℃)
溶解度 :	水で希釈可能
n-オクタノール/水分配係数 :	-0.32(エタノール)
自然発火温度 :	363℃(エタノール)
粘度(粘性率) :	1~100mPa・s(23℃、BL型、60rpm)
その他データ :	特になし

10. 安定性及び反応性

反応性：	特になし
化学的安定性：	気密状態で冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性：	特になし
避けるべき条件：	5℃以下の低温及び40℃以上の高温
混触危険物質：	情報なし
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)：	分類できない
急性毒性(経皮)：	分類できない
急性毒性(ガス)：	区分に該当しない
急性毒性(蒸気)：	分類できない
急性毒性(粉じん)：	分類できない
急性毒性(ミスト)：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性：	強い眼刺激性
呼吸器感作性：	分類できない
皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	遺伝性疾患のおそれ
発がん性：	発がんのおそれの疑い
生殖毒性：	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
誤えん有害性：	分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)：	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)：	分類できない
残留性・分解性：	データなし
生態蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン性への有害性：	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装：	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号： 該当しない

国内規制

陸上規制情報： 該当しない

海上規制情報： 該当しない

航空規制情報： 該当しない

その他の情報

緊急時応急措置指針番号： 171 に準じた取り扱いを推奨する。

運送又は輸送手段に関する特別な安全対策： 運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。輸送時にイエローカードの保持が必要である。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	ギ酸
労働安全衛生法：	名称等表示・通知物質	エタノール
PRTR 法：	非該当	
毒劇法：	非該当	
消防法：	指定可燃物、可燃性液体類	
大気汚染防止法：	揮発性有機化合物	エタノール 1,3-ジクロロ-2-プロパノール
海洋汚染防止法：	有害液体物質	ギ酸 エタノール 3-クロロ-1,2-プロパンジオール
特定有害廃棄物：	廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの	
輸出入規制法		3-クロロ-1,2-プロパンジオール

16. その他の情報

本 SDS は、JIS Z 7253 : 2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂されることがあります。

本 SDS は必ずしも製品の安全性を保障するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性を持つ可能性があります。

取扱事業者は、本 SDS を参考として個々の取扱い、用途、用法などの実態に応じた安全対策を実施のうえ、お取扱いください。

参考文献：

化学物質の危険・有害便覧	(中央労働災害防止協会編)
12093の化学商品	(化学工業日報社)
知っておきたい職場の化学物質	(日本化学工業協会)
日本産衛学会 HP	
職場の安全サイト	
GHS 分類結果データベース	
各原材料の SDS	
